

25-10教育研究評議会議事概要

日時 平成26年1月15日(水) 13:30~14:50

場所 総合研究棟Ⅱ 第1会議室

出席者 内田学長

吉岡、朴、堀、鈴木、山本、後藤(太)、堀内、江原、児玉

樹神、井口、藤田、山口、緒方、駒田、伊藤(智)、小林(英)、後藤(正)、梅川

小林(一)、伊藤(正)、福岡

◎前回議事概要の確認

学長より、事前にE-mailで照会した25-9教育研究評議会議事概要案について、配付資料のとおり記録にとどめたい旨の報告があり、了承された。

I 協議事項

1. 「新しい教養教育のための組織とカリキュラムの概要—提案—」等について[継続]
各部局長より、検討された意見の説明があった。続いて、審議の結果、原案どおり承認された。

(学部等の意見)

(人文学部) 協力することでまとまった。

- ・共通カリキュラム26単位の文書化をお願いしたい。
- ・機構教授会の権限を明確にしていきたい。
- ・具体的にどのように実施するのか今後とも慎重をお願いしたい。

(教育学部) 特に異論なし。

- ・任期を2年にしていきたい。

(医学系研究科) 特に異論なし。

(工学研究科) 大枠了承された。(以下の内容を室長宛に文書で依頼した。)

- ・具体的なカリキュラム内容で選択の幅を大枠にしていきたい。具体的な代案を示したので検討願いたい。
- ・キャリア教育科目について、現行の工学部の卒業要件に抵触する箇所があるので配慮願いたい。
- ・教養教育専門会議で、複数の分野で同じ科目を扱っている場合、分科会機能との整合性を配慮願いたい。

(生物資源学研究科) 原案を了承する。

- ・前回の検討内容を踏まえ、より良いものにしていただきたい。

(地域イノベーション学研究科) 特に異論なし。

(全学共同利用研究施設) 特に異論なし。以下の意見があった。

- ・「異文化」の表現に違和感があり、「多文化」とした方が良い。
- ・任期制を統一した方が良い。

2. 中期計画の変更について

朴理事より、「資料2-1、2-2」に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

Ⅱ 報告事項

1. 平成25年度業務執行状況（第3四半期）について

各理事・副学長・附属病院長より、「資料3」に基づき報告があった。

2. その他

- 学生代表の教育研究評議会等諸会議陪席について、意見交換を行った。
- 部局長の役員打合会、役員懇談会等への参加について、意見交換を行った。

以 上